



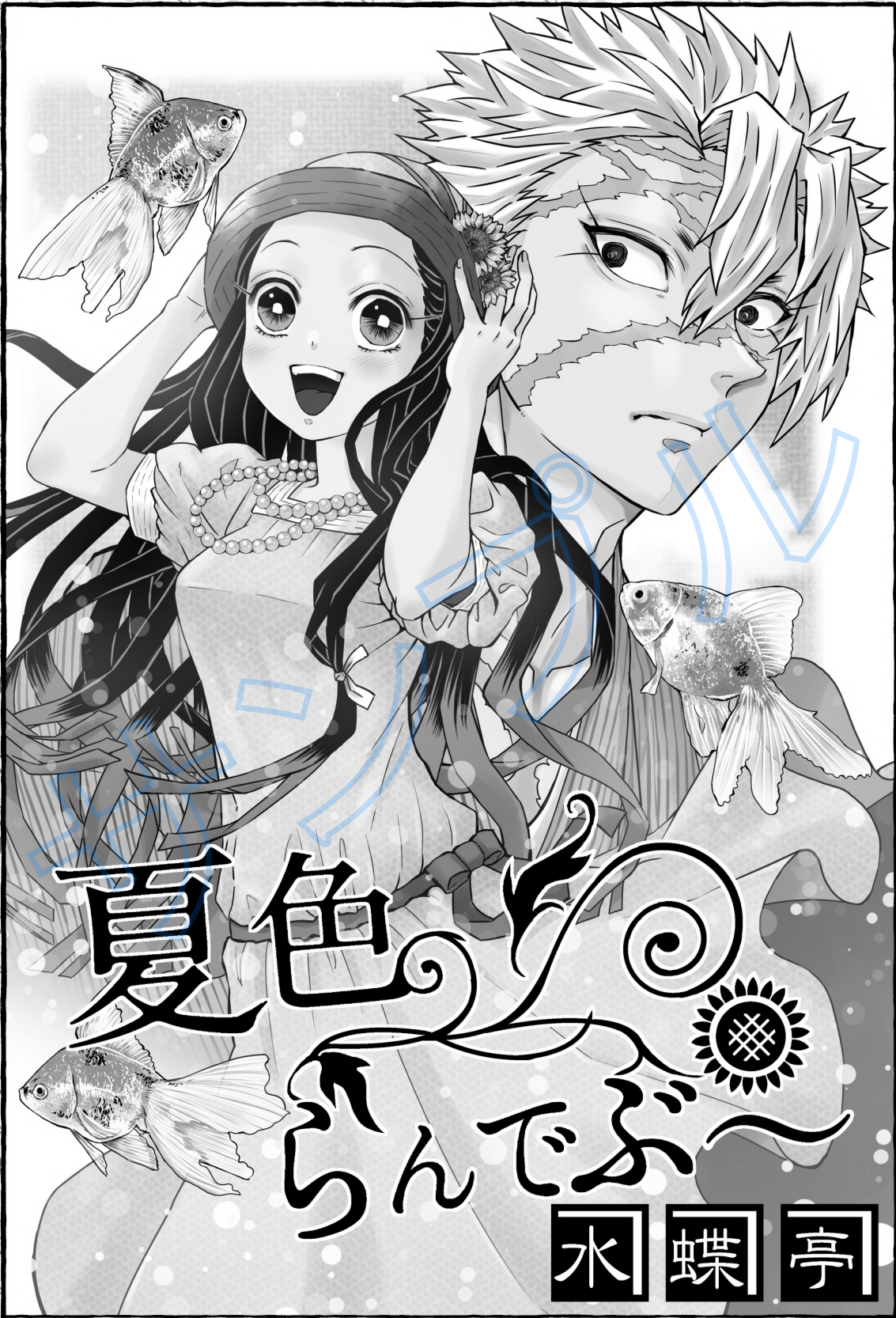
夏色
らんでぶ〜

水蝶亭



夏色
らんでぶ〜





夏色

らんでぶ〜

水蝶亭

注 意

この本は、原作二百四話までの不死川さん、瀬豆子ちゃんの関係元にした『さねねず』カップリング漫画です。

カプが苦手な方、原作単行本未読な方はご覧にならないようお願いします。またちよつぴりおはみつ要素も有りますのでご注意ください。

どんなのでも許せるぞ！むしろさねねず万歳という広い心をお持ちの方はどうぞそのまま読み進めて下さい。

読後、御感想など奥付のアドレスまたはQRコード宛に送っていただけましたら幸いです。

最後に……さねねず愛が止まらない……！

前書

はじめまして＆お久しぶりです、水蝶亭の石神たまきです。

今回の本は「ミニエピソード」で「要望の多かった『夏がテーマの二人デート本』です。

色々ありまして夏が過ぎてからの発行になって申し訳ないです。
一夏のふたりの思い出として受け止めていただけたら幸いです。

(アンケートにご協力ありがとうございました！またあれこれ悩んだ時にフォローの皆様のお力をお借りすると思いますので、その際はまたよろしく願います！)

さて、今回のお話はミニエピソードにて不定期連載しております『恋春語りシリーズ』の続編、恋夏語りに繋がる閑話休題的な物語となっております。

一応これまでのあらすじも本誌に載せてありますが、詳しいところはシリーズを先に読まれると良いかと思っておりますので是非そちらもご覧頂けたら幸いです。

それではどうぞ二人のつたないデート(大正時代はランデブーといったそうです)をお楽しみ下さいませ！

目次

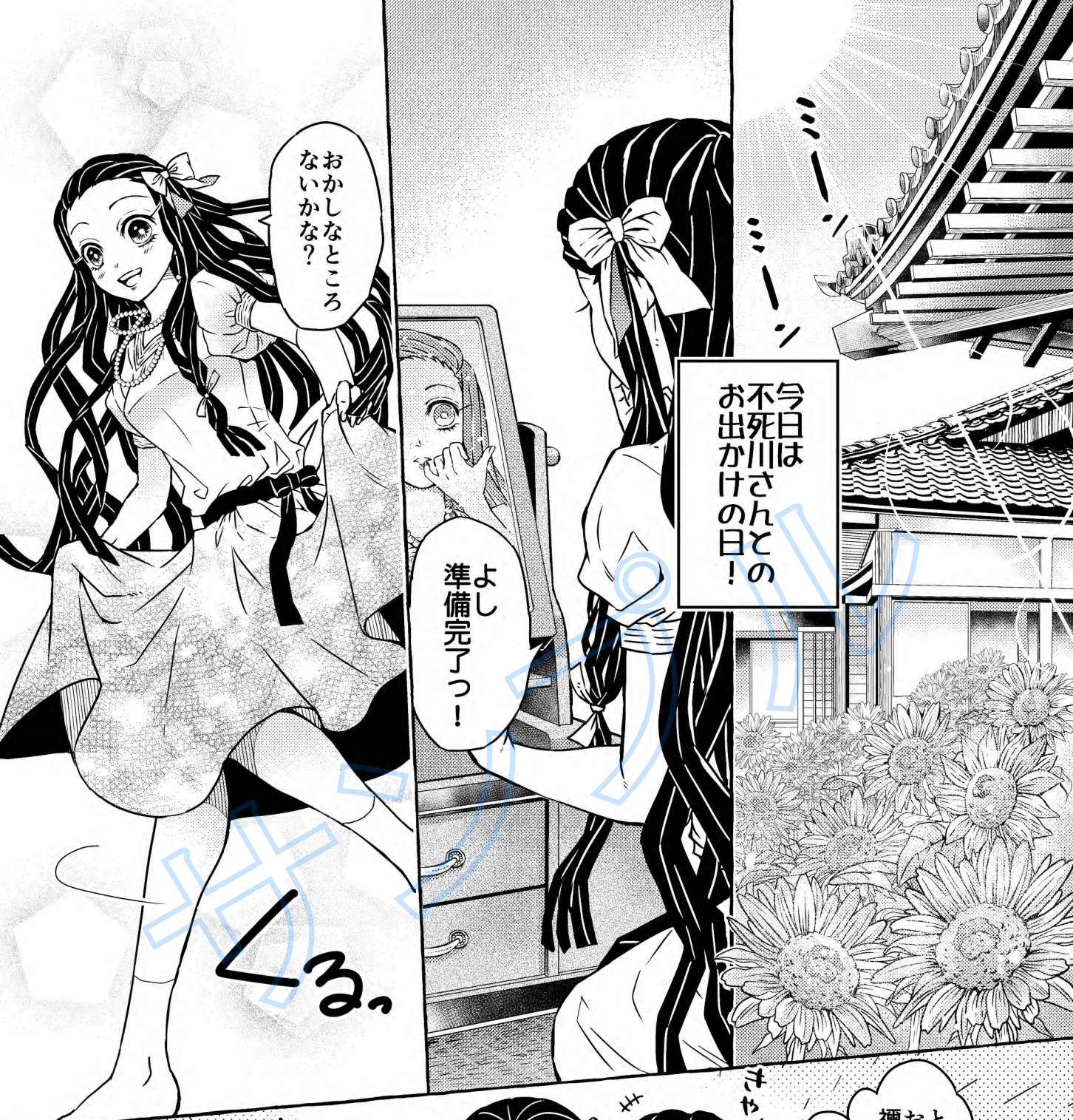
■ 夏色☆らんでっー

7

■ これまでの馴れ初め

最悪な出逢いをした二人。
しかし全てが終わり、かつての強硬手段を実弥が謝った事でそれを許す瀬豆子。
それで二人の関係は穏やかに終わるはずだった。

…が、その時実弥が見せたさりげない優しい笑みと触れ合いて一瞬で
瀬豆子は恋に落ち蝶屋敷の娘達協力のもと熱烈に積極的に実弥に迫る。
結果、なんだかんだと二人は両想いになるのだが…

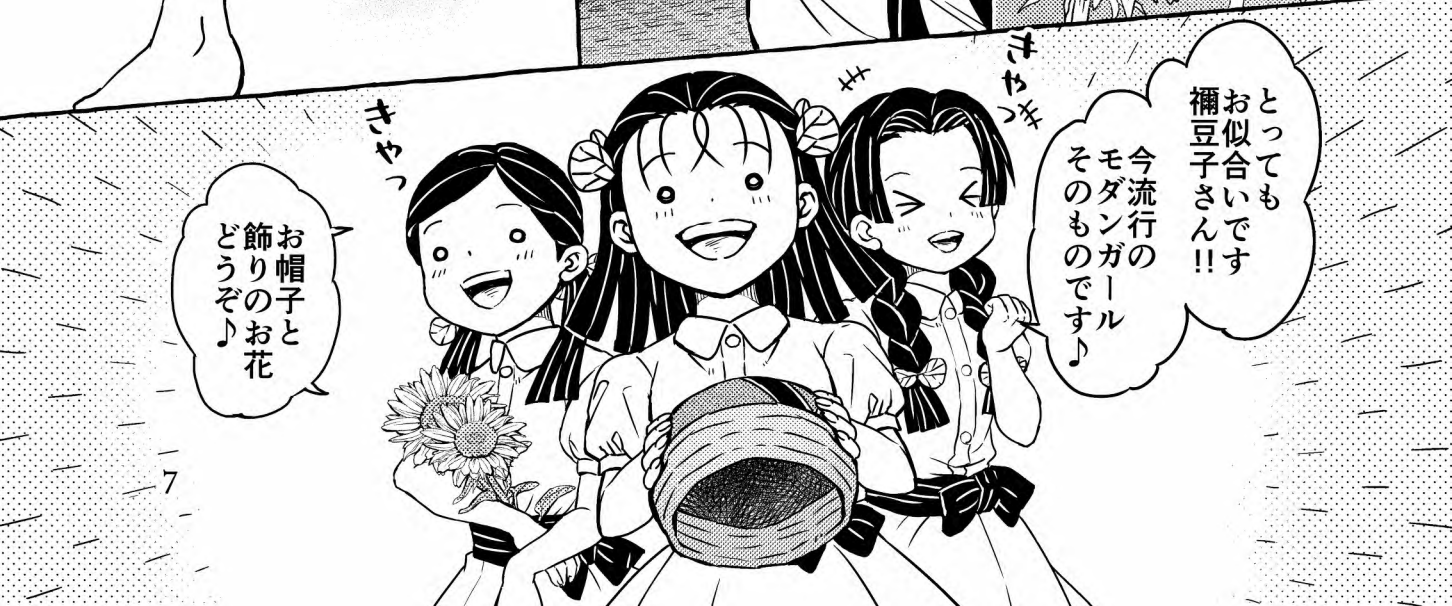


おかしなところ
ないかな？

今日は
不死川さんの
お出かけの日！

よし
準備完了っ！

くるっ



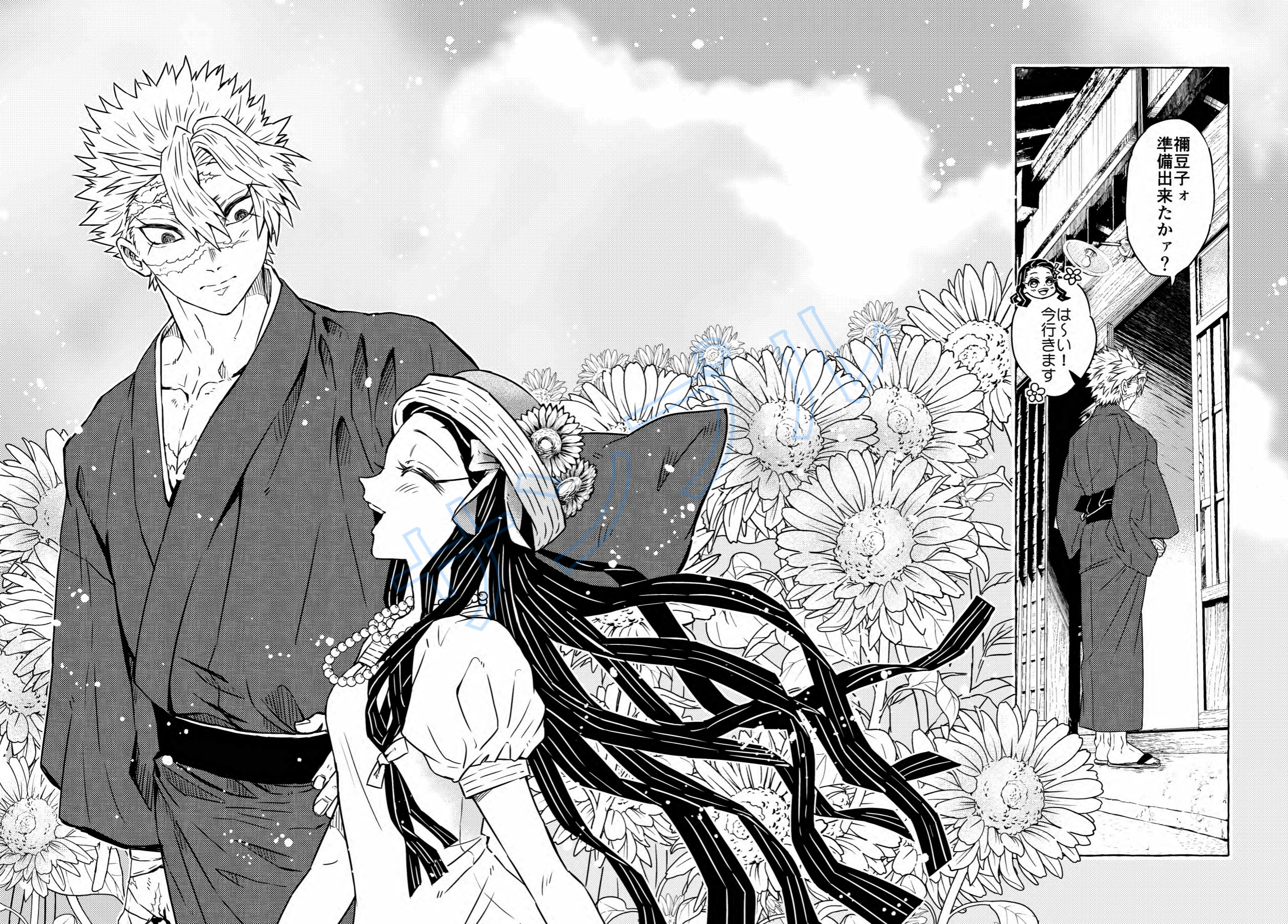
お帽子と
飾りのお花
どうぞ♪

とっても
お似合いです
禰豆子さん!!
今流行の
モダンガール
そのものです♪

きゃっ

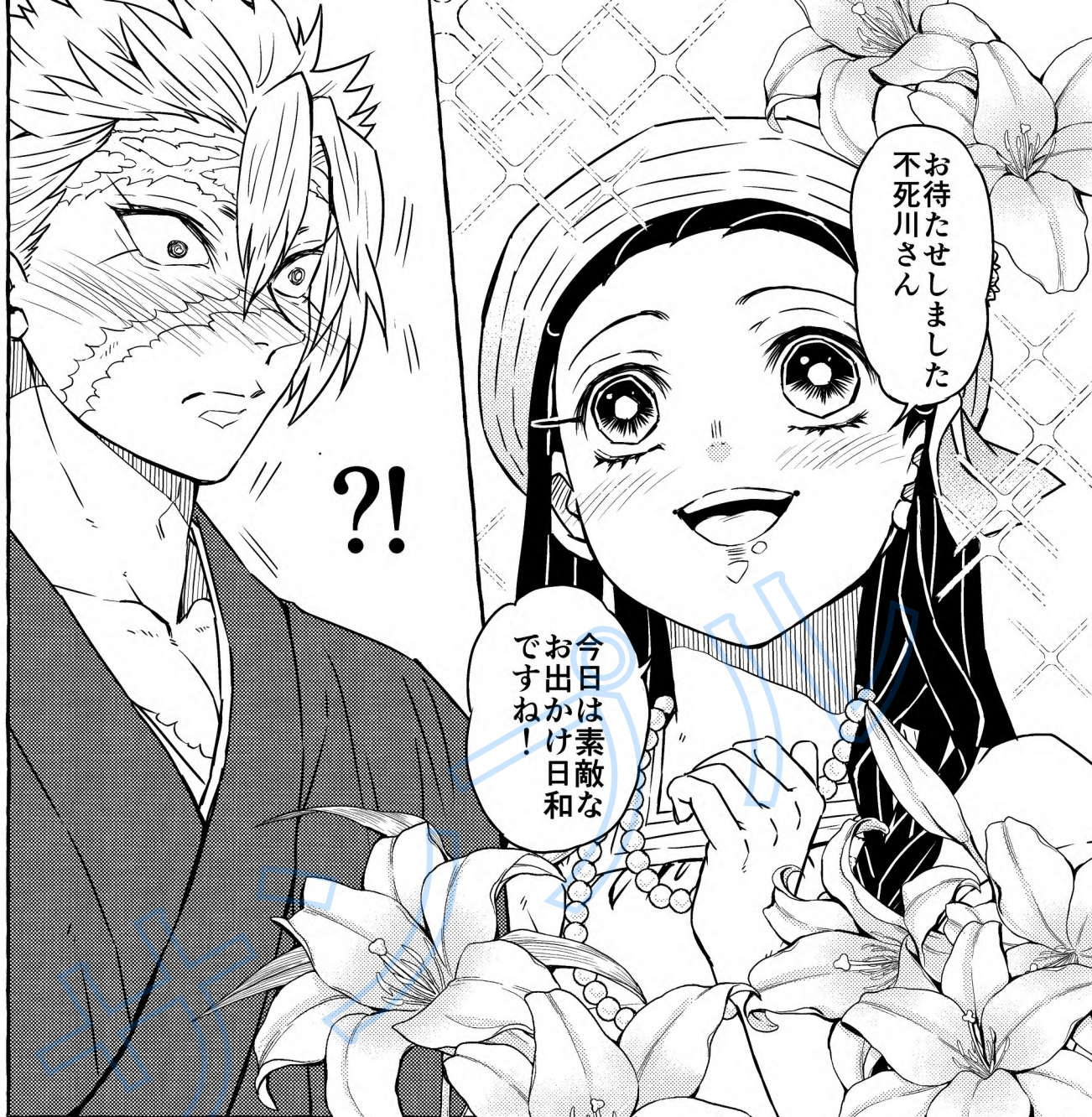
キキ

キキ



禰豆子
準備出来たかア？

はい！
今行きます



お待たせしました
不死川さん

?!

今日は素敵なお出掛け日和ですね!



えっと
どうしましたか?

……

不死川さん?

あ…あの